

多様な人材の確保と育成

佐賀県空調衛生工業会会長 土井 敏行



新年あけましておめでとう
ございます。謹んで新春のお
慶びを申し上げます。

令和2年をふりかえってみ
ますと、新型コロナウイルス
の発生が世界中の経済・暮ら

しに多大な影響を与えたこと
に尽きます。今もなお感染者
が出ており目に見えない敵と
戦っている状況に不安がつつ

つていくばかりです。東京オ
リンピックや、佐賀県におい
ては国民スポーツ大会など、
国のプロジェクトから地方の
大小のイベントまで軒並み延
期中止に追い込まれました。
経済は大きく落ち込み、人と
人との距離に変化が生じ、接
触を避けマスク着用の生活に
戸惑うなか、7月には佐賀県

西部地区、特に鹿島市を中心
とした豪雨災害が発生し、多
大な被害をもたらしました。
毎年発生する自然災害と、ウ
イルス感染症の拡大を防ぐた
めの危機管理が必須となり、
今後は新型コロナウイルスと
向き合っていかなければなら
ないことを感じました。

コロナウィルス感染症は、
我々団体活動にも影響を及ぼ
し定例の会議、関連団体との
意見交換会、講習会等が中止
あるいは縮小開催となる異例
の事態が続いております。こ
のような中、新しい試みで本
部と全国の空調衛生工業会の
事務局会議がリモートで行わ
れました。コミュニケーション
の希薄さが生じる等の意見
がありました。それぞれの

メリット・デメリットを生か
しつつ活用できるのではな
いかと考えます。

少子高齢化と生産年齢人口
の減少により、担い手不足が
続く中、建設業における多様
な人材の確保・育成が、引き
続き重要な課題となっていま
す。

管設備工事への若年層の入
職についても、県内の新卒学
生の確保は難しい状況で、若
者にとつて魅力ある産業とな
るよう働きやすい職場環境を
整え、誇りある技能職である
ことを伝えていきたいと思っ
ております。そのようなこと
と関連して、公共工事設計労
務単価の8年連続の引き上げ
が建設技能者の処遇改善の好
循環につながるよう、関連団

体と連携を深め、積極的な要
請活動、働き方改革の推進に
努めていきたいと思えます。

当工業会は国土交通省よ
り、「令和2年度建設事業関
係功労者等国土交通大臣表
彰」団体の部を受賞いたしま
した。平成11年に任意団体と
して設立し、地道に業界活動
を行ってきましたが今回この
ように評価頂き、栄えある賞
を受賞できたことに感謝する
とともに、今後とも業界の地
位向上のために活動が続けて
まいります。

最後に、今後も関係者各位
のご指導をお願い申し上げま
すとともに、皆様のますます
のご健勝とご多幸をご祈念申
し上げ、新年のご挨拶といた
します。

技術士(Professional Engineer)とは

日本技術士会佐賀県支部長 盛永 保弘



新年あけましておめでとう
ございます。謹んで新春のお
慶びを申し上げます。

本年、公益社団法人日本技
術士会は設立70年目の節目を

迎えます。第二次世界大戦後、

「荒廃した日本の復興に尽力
し、世界平和に貢献するため、
社会的責任をもつて活動でき
る権威ある技術者」が必要と
なり、米国のコンサルティン
グエンジニア制度を参考に
「技術士制度」が創設され、
1951年に日本技術士会が
誕生しました。

技術士法は、1957年5
月20日に制定されました。技
術士等の資格を定め、科学技

術が社会や環境に重大な影響
を与えることを十分に認識し
て、技術士倫理綱領の遵守の
もと業務の適正を図り、もつ
て科学技術の向上と国民経済
の発展に資することを目的と
しています。技術士資格は、
APEC(アジア太平洋経済
協力)地域の15エコノミーが
APECエンジニアの登録を
する制度に参加しており、I
PEA(国際エンジニア協定)
国際エンジニア資格制度につ
いても、その正式なメンバー
として参画しています。技術
部門は、機械、船舶・海洋、
航空・宇宙、電気・電子、化
学、繊維、金属、資源工学、
建設、上下水道、衛生工学、
農業、森林、水産、経営工学、

情報工学、応用理学、生物工
学、環境、原子力・放射線、
総合技術監理、の21部門です。
佐賀県内でも多くの技術士が
各技術部門の職種に携わり活
躍しております。

佐賀県支部では、主な事業
として、春と秋の年に2回の
技術懇話会を催し、地域に根
ざした内容を発信しておりま
す。令和元年度からの技術懇
話会のテーマは、それまでの

『減災・防災』から『地域の
活性化』としました。昨新春
は、新型コロナウイルスの感
染拡大により、佐賀県でも4
月上旬にクラスターが発生
し、断腸の思いで技術懇話会
を中止しました。しかし、秋
の技術懇話会は新型コロナウイルス

イルス感染拡大防止対策を万
全にし、「小規模事業者の持
続的発展とまちづくり」、「地
域の活性化と人材育成」と題
して開催いたしました。本年
も、新型コロナウイルス感染
拡大防止対策を万全にして、
『地域の活性化』をテーマに
技術懇話会を開催したいと思
っております。

一昨年の佐賀大水害や昨年
の熊本大水害にも眼を向け、
地域技術者の皆様と意見交換
をして、未来に暮らす人々に、
より良き社会を継承していけ
るように尽力させていただき
たいと夢描いているところで
す。

